

まえがき

夢は「どうでもいい」と考えるぐらいが丁度いい。

もし、その夢が実現できなかつた場合、あなたはどのように軌道修正を考えられていますか？

もし、その策があるのであれば、この本を閉じて棚に戻したほうがいいです。

私の小さいころの夢は「忍者」、小学3年生からはずっと「美容師」でした。でも、今はいつの間にかインターネット広告の代理店として起業しています。忍者はともかく、美容師は専門学校にも通い免許も取得し就職だつてしました。だが、今は怪我を理由に美容師を引退しインターネット広告の代理店をしています。

ただ、夢破れたかという自分はそのうち思っていないし、とても充実した楽しい人生を歩めています。

むしろ夢破れたおかげで、今の楽しい人生があるとすら思っています。

吹けば飛ぶような小さい会社だけど社長だし、結婚して元気な子どもが3人いる。仕事でも「ありがとう」という言葉をたくさんいただけ、「必要とされている」という承認欲求も満たされとても幸せです。自分の人生において、大事なことはどうにかなってきたというか、美容師としての成功や忍者になれなかったことなど「どうにもならなかったこと」は「自分にとってはどうでもいいことだったのだ」と都合よく前向きに生きています。

そんな私のような生き方・考え方で何かチャレンジをしようとしている人や、逆に強すぎる信念がなく不安な人たちを助けることができればと思います、本にしました。